

5. 追浜駅交通結節点の将来の姿

5-1. 整備イメージ

先端技術とスポーツを通じて「世界」とつながる 追浜
『みんなで「夢」を育み、みんなに優しい、未来を見据えた駅前拠点の創出』

公共施設・防災施設



※1

平常時に市民の憩いの場、
災害時に情報拠点となる空間を設置

交通ターミナル



バス・タクシー乗降場等を駅前に配置し
乗り換え利便性を確保

歩行者デッキ



賑わい空間の創出や回遊性向上の
ためのデッキネットワークを整備

新たなモビリティネットワーク



※2

駅前や周辺の回遊性を向上させる
モビリティネットワークを構築

駅前再開発



※3

駅前と新・既存再開発ゾーン間で
必要な機能の役割分担を検討

市道追浜夏島線拡幅



交通量増加への対応のため、
周辺まちづくりと連動した拡幅を検討

※イメージであり、整備内容を決定するものではありません
<出典>

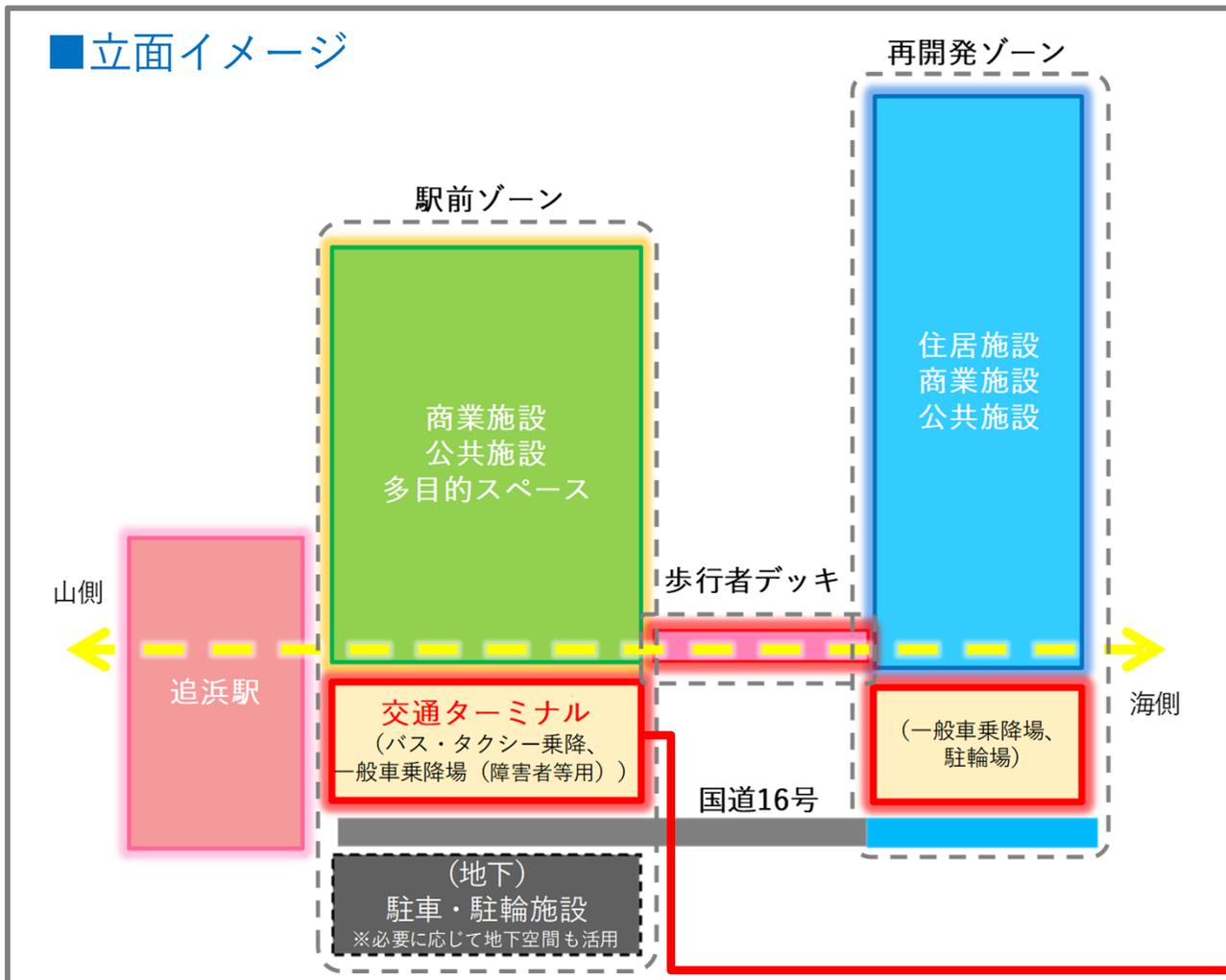
※1：国道2号等 神戸三宮駅前空間の事業計画(国土交通省・神戸市)より

※2：国道15号品川駅西口広場事業計画より

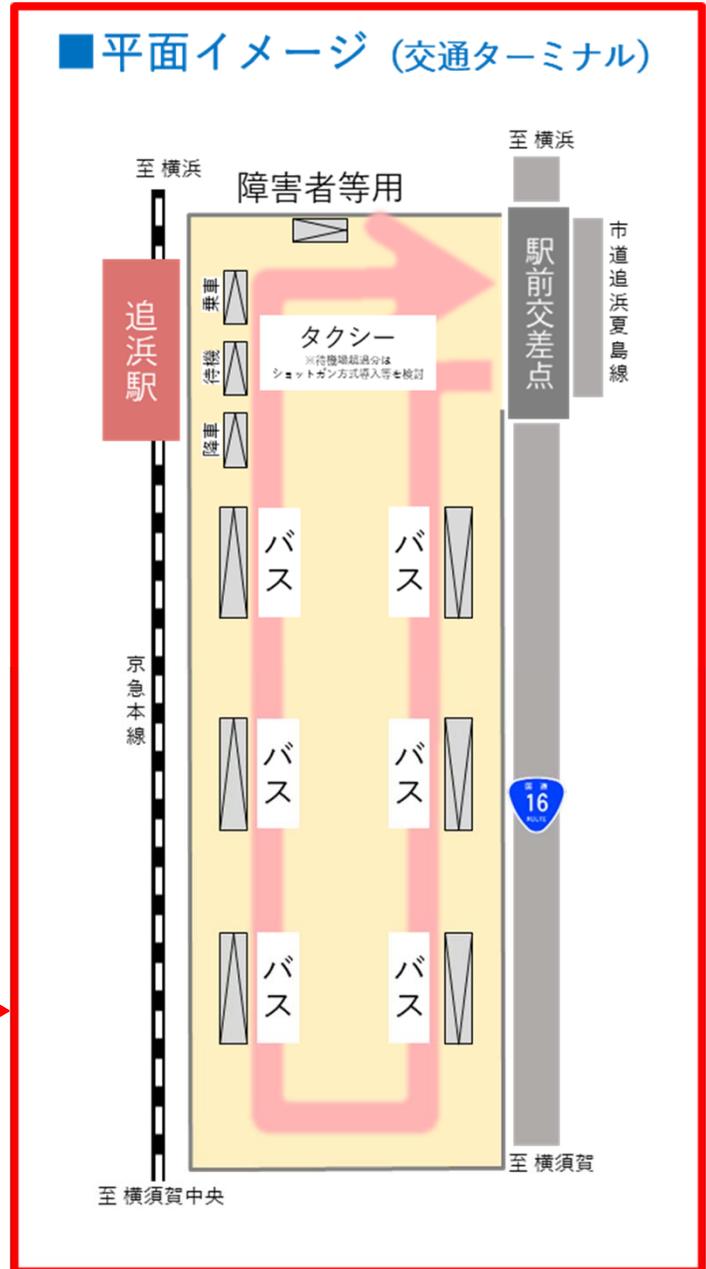
※3：追浜駅前市街地再開発準備組合より

5. 追浜駅交通結節点の将来の姿

5-2. 施設配置と事業区分



主体	事業区分
国	交通ターミナル、一般車乗降場、歩行者デッキ 等
市	公共施設、多目的スペース、駐輪場、歩行者デッキ 等
民	駅ビル・再開発ビル（商業施設、住居施設、駐車場）、歩行者デッキ 等



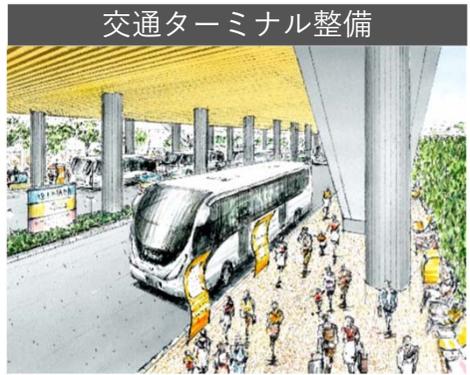
※イメージであり、整備内容を決定するものではありません

5. 追浜駅交通結節点の将来の姿

5-3. 周辺関連事業と連携した段階的事業推進イメージ

○周辺の関連事業と連携し、段階的に事業を推進することで、空間の有効に活用するとともに、連鎖型開発を実現していきます。

■追浜駅周辺の段階的事業推進イメージ



出典：国道15号品川駅西口広場事業計画より



周辺事業と事業進捗を調整することで、段階的に空間を活用するとともに、連鎖型開発を実現



現在の駅前空間



出典：追浜駅前市街地再開発準備組合より

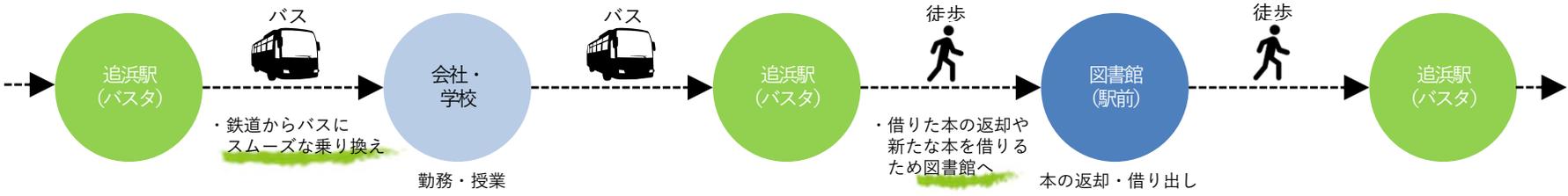


5. 追浜駅交通結節点の将来の姿

5-4. 将来の行動ストーリー

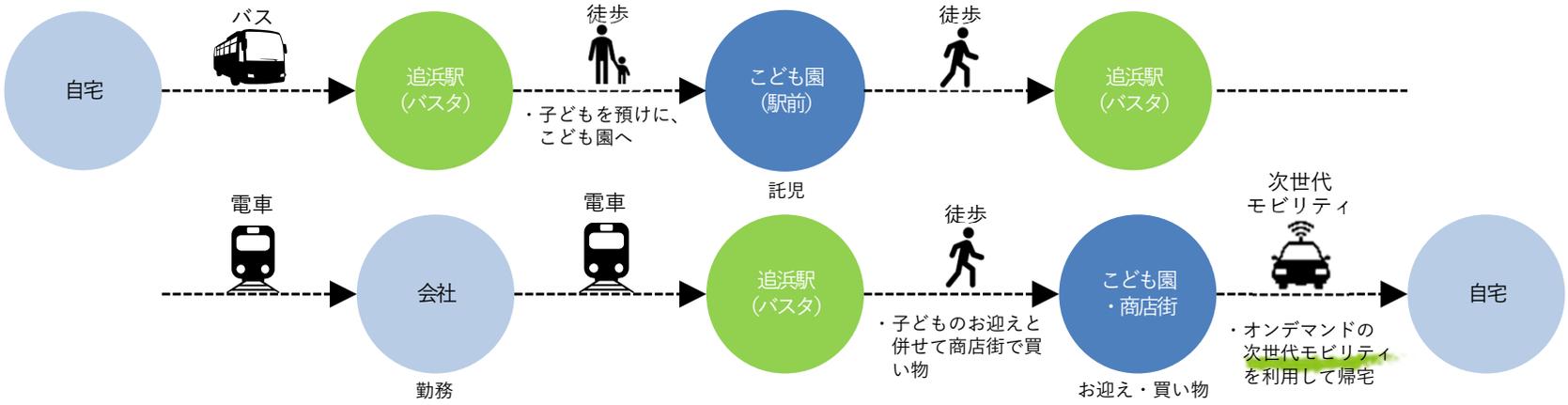
①通勤・通学者（追浜外⇒追浜内）

- 追浜外から追浜に通勤、通学する人の動き
- 駅前の図書館で本を借りて、電車内で読書しながら帰宅



②子育て世代の通勤者（追浜内⇒追浜外）

- 追浜に居住し、子育てしている人の動き
- 駅前施設にこども園があり、朝の時間に余裕が生まれる
- 帰路では、子供と一緒に駅前商店街で買い物



③イベント時来街者（追浜外⇒追浜内）

- 野球等を観戦に来訪する人の動き
- バス乗車場所がわかりやすいので、初めての来訪でも迷わない
- 帰りは周辺を散策しながら商店街で飲食

